



平成 29 年 5 月 18 日

各 位

会社名 日本ラッド株式会社
 代表者 代表取締役 大塚 隆一
 (コード番号 4736)
 問合せ先責任者 経営企画室長 土山 剛
 (TEL. 03-5574-7800)

通期業績予想値と決算値との差異および特別損失の計上に関するお知らせ

平成 28 年 6 月 29 日に公表いたしました、平成 29 年 3 月期 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日) の通期業績予想値と本日公表の決算値との差異および特別損失の計上について下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想値と決算値と差異

(1) 平成 29 年 3 月期通期連結業績 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	百万円 3,600	百万円 250	百万円 250	百万円 435	円 銭 106.58
今回発表実績(B)	3,222	189	197	409	96.03
増減額(B-A)	△378	△61	△53	△26	—
増減率(%)	△10.5	△24.4	△21.2	△6.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	3,502	190	200	328	80.56

(2) 平成 29 年 3 月期通期個別業績 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益(円)
前回発表予想(A)	百万円 3,500	百万円 240	百万円 240	百万円 425	円 銭 104.13
今回発表実績(B)	3,219	232	241	252	59.21
増減額(B-A)	△281	△8	1	△173	—
増減率(%)	△8.0	△3.3	0.4	△40.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	3,500	240	239	390	95.56

2. 差異の理由

(1) 個別

売上高につきましては、IoT事業への構造転換と集中の為に人的リソースの投下を行ったこと、地方での大口案件対応の遅れ、医療機関向け外来受付端末販売が予定を下回ったことなどによるものです。

営業利益及び経常利益につきましては、主にSIビジネスにおいて請負プロジェクトの増加における収益性の向上と売上原価の抑制により概ね計画通りとなりました。

当期純利益につきましては、「3. 特別損失の計上について」で記載の通り、連結子会社の株式評価損を計上したこと、来期以降の収益獲得による繰延税金資産の回収可能性を見直した結果、法人税等調整額の積み増しにより、当初の予定を下回りました。

(2) 連結

「(1) 個別」にて説明した内容に加えて、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、連結子会社の売上高が予定を大幅に下回ったことにより、それぞれ当初の予定を下回りました。

3. 特別損失の計上について

連結子会社(株式会社アリーナ・エフエックス: 外国為替証拠金取引業)の株式について、同社の事業推移及び今後の回復可能性と純資産の状況等を検討した結果、特別損失として関係会社株式評価損 194 百万円を計上いたします。

(なお、関係会社株式評価損は連結決算上相殺消去されるため連結業績への影響はありません。)

以上